

取扱説明書

複層ガラスおよび複層ガラス関連製品は、通常の一枚ガラスと同様にお取り扱いいただくほか、その特有の構造から特別にご留意いただきたい項目もあります。

ご使用にあたっては、次の項目をご一読くださいますようお願いいたします。

複層ガラスのクリーニング時のご注意点

- ・ガラス面のクリーニングは、室内外とも一般的な水拭きをおすすめします。
- ・落ちにくい汚れの場合は中性洗剤を使用し、その後、水で洗い流して乾拭きしてください。なお、スキージーを使用する場合、裏面の金具がガラス面に当たるような使い方をしますとキズがつくことがありますのでご注意ください。
- ・砥粒、強酸、強アルカリ、フッ化水素などが含まれる洗剤でクリーニングするとサッシ内に浸入した薬剤が複層ガラスの封着材に悪影響を及ぼし、寿命を短くしますので、ご使用はお避けください。
- ・カッターナイフなどで、ガラス面を擦るとキズがつくことがありますのでお避けください。

●洗剤

汚れの程度にもよりますので、以下の中から適切な方法をお選びください。

汚れの程度	使用する洗剤
一般的な清掃	a.水拭き
落ちにくい汚れの清掃	b.中性洗剤

●クリーニング方法

a.水拭き(一般的なクリーニング)

- ①清水(微温湯)を浸した柔らかい布でガラス面を濡らす。
- ②ゴムスキージー(窓拭きワイパー)で清掃。
 - ・微細な固形物を水で取り除いた後に清掃してください。
 - ・スキージーの裏側の金具をガラス面に当てないようにご注意ください。
 - ・スキージーの先端には汚れが残っていますので、その都度汚れを落として使用してください。
 - 特にガラス下辺部の固形物質にはご注意ください。
- ③必要に応じて乾燥した布で拭く。

b.中性洗剤

- ①中性洗剤の水溶液に柔らかい布を浸して汚れを拭き取る。
 - ・固形物質などは軽く押さえて拭き取るようにしてください。
- ② a.水拭きの手順に準じてクリーニングする。

○窓ガラスが曇ったり、水で濡れた時に、ガラス表面に付いた吸盤やラベルなどの跡が浮かび上がり、通常のクリーニング剤で除去できない場合があります。この場合には、「自動車ガラス専用の研磨剤」で除去することができますので、一例をご紹介します。

・自動車ガラス専用研磨剤「キイロピン120」(発売元:株式会社プロスタッフ)
※全国の自動車用品店やホームセンターで取り扱っています。

複層ガラス特有のご留意事項

外観上の特長

1. 二重像について

昼間、明るい室外から室内を見たり、夜間、明るい室内から室外を見た場合、光の反射によって二重になって見える場合があります。

2. 干渉縞について

複層ガラスとしての構造上、虹色の色縞(干渉縞)が見られる場合があります。

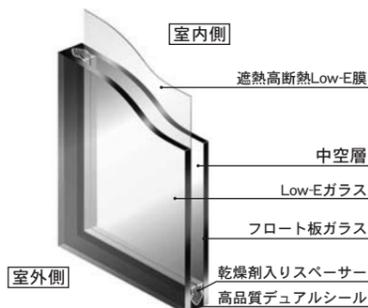
3. ゆがみについて

温度変化によって、中空層内部の空気圧が変化し、ガラスにたわみが生じて反射映像がゆがみます。特に反射率の高いLow-E複層ガラスはゆがみが誇張されることがあります。

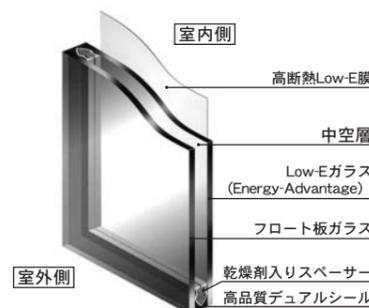
4. 色調について

Low-E複層ガラスは透過光と反射光で色調が異なります。特に見る角度によって反射の色調が変わることがありますのでご了承ください。また反射光において若干ですが色調がムラとなって見える場合があります。

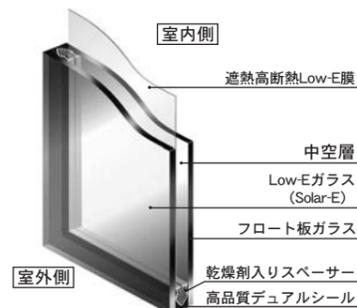
おもな複層ガラス製品 ★印はLow-E複層ガラスに該当します。



★WSエコ・Low-E (クリア・グリーン)



★WSエコ・Low-E (EA)



★WSエコ・Low-E (SE)

※上記の製品以外にも、当社複層ガラスに適用いたします。

携帯電話の送受信に関する影響

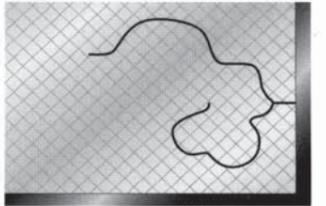
Low-E複層ガラスは携帯電話などの電波機器をご使用時、送受信に障害がでる場合があります。

熱割れについて

複層ガラスに日射が当たると、ガラスの中央部とサッシの中に納まっているガラスの周辺部に温度差が生じてしまいます。この温度差が大きくなるとガラスにヒビが入って割れてしまうことがあります。この現象を熱割れとよび、特に網の入ったガラスで起こりやすくなります。

熱割れを防ぐためには、

- ・冷暖房の吹き出し空気をガラス面に直接当てない。
- ・ガラスに密着するような家具や家電製品の設置は避ける。
- ・ガラスにフィルムや紙を貼ったり、塗料を塗らない。
- ・一時的な仮置きの場合でも、室内側ガラスの近くにダンボール・クッション等、物を置かない。



▲熱割れのイメージ

結露について

複層ガラスは室内側ガラスの結露を軽減する効果がありますが、室内と室外の温度差が大きく、室内の湿度が高い場合に結露が生じることがあります。特に、出窓は生じやすくなります。結露を防ぐためには、次の工夫が有効です。

①湿気の発生をおさえる工夫

- ・洗濯物を室内に干したり、観葉植物の水のやりすぎを避ける。
- ・開放型ストーブより、FF型ストーブやエアコン、床暖房を使用する。

②換気の工夫

- ・自然換気風の通り道をつくり、部屋の空気を定期的に入れ替える。
- ・キッチンやバスルームでは換気扇を使用する。

③その他の工夫

- ・夜間は雨戸、シャッターを閉める。
- ・湿度の高い梅雨の時期は除湿する。

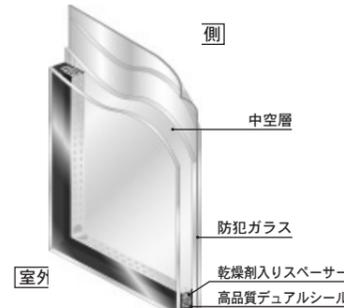
アタッチメント付複層ガラスについて

普通一枚ガラスからアタッチメント付複層ガラスに交換するとガラスの厚さが増した分、窓の重量が増加するため、交換前に比べて、サッシの動きが重たく感じられたり、網戸の開閉が困難になることがあります。

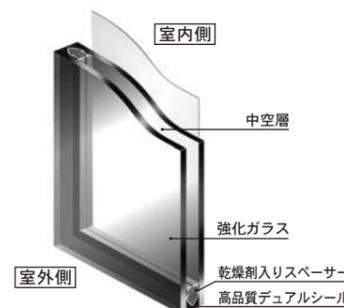
グレチャン付複層ガラスについて

サッシと複層ガラスの間にあるゴムパッキン(グレイジングチャンネル)は、樹脂素材を使用しているため、経年劣化により若干収縮することがあります。その場合、サッシとの接合部分にすき間が生じる場合がありますので、ご了承ください。

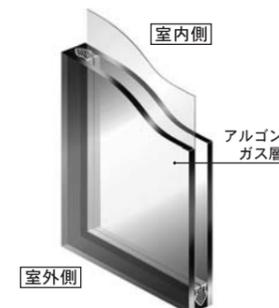
■オプション



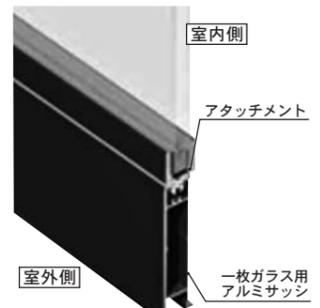
+防犯タイプ



+強化タイプ



+アルゴンガスタイプ



+アタッチメントタイプ